

1. 日時：2011/11/18(金) 15:00-17:00
2. 場所：BCAO 日本橋事務所
3. 進行：市川座長 (レスキューナウ)
4. 記録：議事録>横山 (富士通エフサス)
5. 出席者 (7名：敬称略・順不同)
市川 (レスキューナウ)、野田 (アジア航測)、杉山 (富士通 FIP)、村田 (富士通 FIP)、
若林 (イー・アール・エス)、横山 (富士通エフサス)
6. 実施内容
 - (1) アクション項目別フロー図
 - ・ 「a24:発災時の緊急連絡」-(若林：イー・アール・エス) について検討を行い、確定させた。
 - ・ 「a25:現地緊急対策要員の参集」-(副島：大林組__欠席) について検討を行い、確定させた。
 - (2) 情報提供 (村田：FIP)
【災害時のデータセンターの対応】
 - ・ 東日本大震災時の某東北地区データセンターの被災状況と、対応を紹介。
「ファシリティーとして効果のあった対策などが覗えた」
 - ・ 同社の本社部門の対応について紹介。
「対策本部立ち上げ及び対応の紹介、HP での公開などの例示」
 - ・ 東日本大震災を受けた同社の今後の課題紹介。
 - ドキュメントの更なる整備
 - ローカルPCのデータ対策
 - 従業員安否の自主的な報告
 - ・ 東日本大震災を受けての内部意識の醸成。
 - 手順書ファイルの可視性 (レッドとする)
 - 対策本部に記録要員を設ける
 - 訓練は事業継続と防災を明確にする
 - 訓練：対策本部設置/安否確認/徒歩帰宅/在宅勤務
 - 教育：レッドファイル教育 (e-Learning) /役員説明/自衛消防向け
 - (3) フリーディスカッション
 - ・ 研究会として時間軸を捕らえた研究が必要ではないか。
 - 発災～1h: 対応を開始した旨の広報
 - 1h～3h: どのような対応をするかの広報
 - ・ Web 公開の仕組み作り。
 - 作業者の明確化：作文する人に公開作業のスキルが無い場合が多い
 - 公開内容の承認者決定：何人もの承認を得るのは大変、時間もかかる
 - ・ ビル退避の有無・判断基準の検討が必要

7. 今後の予定

- ・ 次回のアクション項目別フロー図検討
 - 「a27：脱出・消火・救護活動に実施」-(村田：富士通FIP)
 - 「a28：危険箇所からの退避」-(横山：富士通エフサス)
- ・ 次回以降の「アクション項目別フロー図」の修正についての担当は以下の通り。
 - 「a29：重要資産の保全・持出し」-(橋元：清水建設)
 - 「a30：現地対策本部の設置」-(村地：構造計画研究所)
- ・ 次回の情報提供「副島：大林組 or 橋元：清水建設」
(3. 1. 1における地震の建物被害や建物からの避難の実態)。
市川座長が両氏にアポイント行う

8. 次回研究会

- 日時：平成23年12月16日(金) 15:00～17:00
 - 場所：日本橋BCAO事務所
 - ・ H24年1月研究会
 - 日時：平成24年1月13日(金) 15:00～17:00
 - 場所：日本橋BCAO事務所
- ※新年会を予定しますので、ふるって参加願います。

以上